

3学年通信

新宮町立新宮東中学校
令和8年5月21日 第11号
文責:江頭 俊輔

[共鳴～つかみ取ろう！みんなの勝利！～]

共鳴

～つかみ取ろう！みんなの勝利～



2026年5月16日

5月16日(土)雲ひとつない快晴のもと、新宮東中学校にて第8回新宮東中学校体育会が行われました。当日はお忙しい中、そして猛暑の中、たくさんのご来校、そしてたくさんのご声援や拍手をありがとうございました。どのブロックもこれまでの体育会学習の成果を発揮して、笑顔あり、涙ありの体育会となりました。生徒会役員をはじめ、体育会に関わるリーダーのみなさん、素敵な体育会にするために連日のリーダー会、大きな声で集団を鼓舞する言動など、東中を引っ張ってくれてありがとうございました。リーダーではない3年生も「最上級生」としての自覚を胸に、笑顔でリーダーを支える姿が素敵でした。あっという間の体育会学習期間でした。学びはしっかりと振り返りましょう。

[本物の勝者になったのは誰だ!]

体育会前夜に発行した学年通信第10号にて、江頭は「勝ち負け以上のものに気付いた人が本物の勝者だ」と伝えていました。体育会を終え、順位が出た今、みなさんは何に気付いたでしょうか。

江頭は体育会中、競技審判として主に入場門側のテイクオーバーゾーンの出口で監察をしていました。響くのは青ブロックの応援。競遊が終わり、順位が出たあと、江頭は青ブロックに「本物の勝者」を見つけました。その「本物の勝者」は、1位のブロックに「おめでとう！」と大きな声で賛辞を送り、自分のブロックの生徒には「よかったよ！ナイスラン！」とこちらも褒め称えていました。江頭は背中にその声を聞きながら、「『本物の勝者』が競技中に現れたな～」ととてもあたたかい気持ちでいっぱいでした。

創作ダンスの時間には、どのブロックが踊っていても、応援席では「手拍子」が送られていました。本部からダンスを見ていた江頭もつい、応援席の様子を見て、手拍子を始めていたことを忘れていません。手拍子で新宮東中学校がつながり、1つになった創作ダンスの演技時間は宝物です。

新宮音頭では、保護者の方を含め、新宮東中学校に関わってくださる方々と一緒に大きな円を描き、笑顔で、(ときおり歌いながら、)新宮音頭を振りました。3年生の長所である「あたたかい雰囲気」で包まれた新宮音頭からは、日々の学校生活の全てがそこに詰まっているように感じました。

勝ち負け以上のものを江頭はいくつも見つけることができた体育会でした。みなさんはいかがだったでしょうか。勝っても負けても「みんなの勝利」をつかみとった体育会であれば、嬉しく思います。